

# 天沼中だより

令和6年5月22日  
杉並区立天沼中学校  
自主・自律・共生



<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumachu/>

## 「フレンドシップスクールを終えて」

校長 池田 和幸

バスに乗ると、バスが通る経路を確認したりゆっくりと変化していく車窓の景色を楽しんだりすることができるので、時間にゆとりがあれば鉄道ではなく、バスを選択することがあります。近頃、天沼中学校の最寄りのバス停、「ウェルファーム杉並」というバス停の時刻表を見たときに、バスの本数がかなり減っていたことに驚きました。昨年度向陽中に勤務していた時に、永福町から中野駅に行くバスの本数が昔（30年以上前）と比べ相当減っていたことに寂しい思いをしていましたが、今回、練馬行きのバスの減便にも同様の思いをしました。一見乗る人が少なくなってしまったのかと思ってしまいがちですが、それだけとはいきれないようで、働き方改革関連法の施行による2024年問題というのも大きいようです。当然乗る人が少なくなれば、バスは減便となっていきます。しかし今回の2024年問題では乗務員の労働時間の減少に伴い、稼働できるバスの台数が減少し、その分乗車率のよい路線、時間帯を多くし、少ない時間、路線を減らしていくといったメリハリをつけたダイヤに組み替えているそうです。バスのダイヤ改正のたびに、運行本数が少なかった便が更に減っていくことに社会情勢の厳しさを痛感しています。

そんな中で、京都・奈良方面の修学旅行でバスが確保できなかったため、行程を変更せざるを得ない学校が出ていることや、貸切バスで移動する小学校の宿泊行事の日程を変更している学校が出ていることが報道されています。本校の6月に実施予定の修学旅行では行程の変更はなく予定通り実施できる見込みですが、今後の宿泊学習などにおいて、急な予定変更なども起こりえることも視野にいれて、対応が必要になった場合に備え、慌てないようにしていかなければと考えています。このようなバスやタクシーの人手不足問題に加え、全体的な物価上昇、インバウンドの増加に伴う宿泊場所の減少など、様々な要因が合わさり、関西方面で実施する修学旅行の費用が、今後さらに大幅な上昇が見込まれています。4月の保護者会でスキー移動教室の実施場所について検討をしていることをお伝えしましたが、これまで当たり前のように行っていた京都・奈良の修学旅行についても、様々な角度から検討をしていかなければならないと感じています。

そんな厳しい状況下ですが、貸切バスを使って5月10日（木）、11日（金）に群馬県みなかみ町藤原の

水上高原藤原スキー場、ホテルサンバードで予定していた通りにフレンドシップスクールを開催することができました。2日間とも快晴で、高原のさわやかな風が心地よい、とてもよい2日間を過ごしました。大きく体調を崩す生徒はなく、参加予定者全員で出発し、帰ってくることができました。

当初、担当教員から生徒全体に注意される場面が多く見られましたが、フレンドシップスクールが進むにつれて、生徒同士、互いに声かけができるようになり、集団行動を意識しながら活動するようになっていく様子がありました。初日のチームビルディングでは、グループで男女分け隔て無く協力して活動している様子や、学級で作戦を練りながら課題を解決しようとする姿が見られるなど、1年生の集団としてもっている力の高さを感じることができました。小学校で協調性や自主性が培われてきた証だと感じると同時に、ご家庭でのご支援の賜であると改めて強く感じることもできました。この生徒の力の高さに甘えることなく、中学校でもさらに伸ばしていけるよう取り組んで参ります。

普段通学している学校を離れ、宿泊を通して生徒同士交流を深め、様々な学びをしていくだけではなく、唯一無二の思い出を創っていく、まさに宿泊行事でしか得られないものがそこにはあります。宿泊行事を実施するためには、様々な準備や宿泊施設等との調整、引率する職員の家庭の協力など多くの苦勞を伴います。それでも宿泊行事を通して、立派に成長していく生徒の姿を見ると、これからも大きな学びが得られるような宿泊行事を続けていけるようにしていかなければならないと強く思いました。これから次年度のフレンドシップスクールの検討が始まりますが、充実した学習ができるように計画していきます。

5月25日（土）は運動会を実施いたします。1年生に限らず、2年生、3年生が自主的に判断し、自律的に行動する姿がどれくらい見られるのか、そして、共に喜びを分かち合うことができる、共生を実現した行事になるのか、今からとても楽しみにしています。今年度は参観の人数制限を無くしました。校地が狭いため、混雑しご不便をかけることもあると思いますが、譲り合ってご参観いただき、家族皆さんで生徒が活躍する姿を応援していただきますようお願い申し上げます。

# 地域交流会

防災教育・引き渡し訓練

4月27日(土)



今年度、最初の土曜授業では1年生を対象に「学校を支えてくれる地域、保護者の皆さん」を知る地域交流会を行いました。本校の教育活動の特色として、様々な外部人材と協力した教育活動が挙げられます。その一例として当日は、「CS(学校運営協議会)」「PTA」「青少年委員」「学校支援本部」がどのように学校と関わり、何をしているのかを学びました。

また、2時間目には本校CS委員の守真弓先生を講師として災害時の動きやマンホールトイレの組み立て方、使い方を学びました。1年生は学校支援本部やCS委員の方々と一緒に知識を深め、体験活動を行いました。



2・3年生は縦割り活動としてHUG訓練(H:避難所 K:運営 G:ゲーム)を行いました。3年生が中心となって司会を行い、合同で天沼中学校が避難所になった場合を想定して訓練を行いました。どのようにして避難者を受け入れるかや物資の置き場などをシミュレーションすることで地域の一員として貢献する気持ちを育みました。



3時間目には震災等の災害に備え、天沼小・沓掛小との合同引き渡し訓練も行われました。発災時には生徒を校内で預かることとなります。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



引き渡し訓練の後、レスキュー隊による防災訓練が行われました。天沼中学校は杉並区で最もレスキュー隊の人数が多い学校です。学期ごとに行われる防災訓練や、杉並区のレスキュー隊の活動、地域ボランティアなどが盛んに行われています。

今年初の防災学習は発災時の傷病者を助けるための車椅子による運搬訓練です。車椅子の動かし方や、ちょっとした障害物があることがどんなに大変かを体験しました。



## おしゃべりウィーク

5月1日・7日・8日

おしゃべりウィークは天中の特色の一つで、気軽に、先生方となんでもおしゃべりする時間です。全教職員のうち、だれとおしゃべりをしたいか全校生徒に希望をとって3日間実施します。成長が著しく、気持ちが不安定になりやすい中学校3年間、悩みを一度もたない生徒はいません。学校や学級になじめない、困難を抱えているけれどはっきり自覚できない、先を見通せない、うまくいかない、などの「もやもや」を言葉に出すことによって少しでも前を向けるように、また、いろいろな先生と仲良くなって、困ったときに相談しやすくなるように、との願いで、天中で10年以上続いているものです。夏休み(三者面談期間)には保護者の方の「おとなおしゃべりウィーク」も希望制で行います。お楽しみに。



# 生徒総会

5月1日（水）



今年度は前期に生徒総会が行われました。生徒会・各委員会からのスローガンや取組予定について提出された議案書を基に各学級で話し合いを行い、それぞれのクラスからの意見や質疑応答が交わされます。生徒全員が生徒会員であることを意識するため、壇上は使用せず全員が同じフロアで輪になって行いました。また、今年の生徒総会では生徒会規約の改正についても話し合われました。男女の人数比を考慮し「常任委員・学級委員を男女各1名」ではなく、男女を問わず2名にしてはどうかという原案に対して、様々な意見が発表されました。「男女がいたほうがそれぞれの立場から活発な意見が出るのではないか」「男子だけ、女子だけでは仲良しグループになってしまう危険がある」「クラス事情によっては男女一人ずつは難しいときがある」などなど。意見を受けて生徒会からは「常任委員・学級委員を原則 男女各1名」と改正案が出され可決されました。生徒一人一人が学校生活について考え、自分事として捉える良い経験となりました。

# 離任式

5月2日（木）



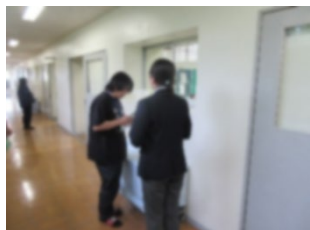
昨年度までお世話になった教職員の方々へ感謝の気持ちを伝える離任式が実施されました。松尾前校長先生も参加され、生徒や教職員の中には別れを惜しみ涙する姿も見られました。ご来校された方々には「花束」が渡され、代表生徒が感謝の言葉を読み上げてくれました。全校での校歌と2・3年生による「地球星歌」の合唱の歌声が美しく響き、去られた方々の心に残る式になりました。

## 今年も「ことだま百選」がスタートしました。

天沼中学校の特色的な教育活動の一つである「ことだま百選」が今年も始まりました。5月1日から始まった朝の活動には教職員だけでなく、たくさんの保護者、学校支援本部の皆様にご協力いただいております。

子どもたちの学習活動の意欲向上に欠かせないのが、周囲の大人による「見取り・価値づけ」です。学習活動に取り組む姿や経過を「見取り」、取り組む姿勢や活動の結果を「価値づけ」することは子どもたちの自主性を育てる上で重要な取組です。今後ご協力をよろしくお願い致します。

10月には英語で行う「KOTODAMA100」も始まります。たくさんの方々のご参加をお待ちしています。



今年もことだま朗読発表会に向けて「鈴木KE企画カンパニー」による朗読の授業が行われました。今年で3年目となるこの朗読授業は生徒達に言葉の大切さ・人に伝えることの難しさを伝える授業です。

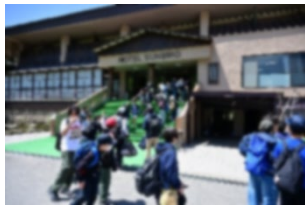


# フレンドシップスクール

群馬県利根郡みなかみ町

5月10・11日

中学1年生が交流を深め、団体生活を学ぶことを目的としたフレンドシップスクールが今年も行われました。



実行委員長の小澤侑奈さんは「この行事をきっかけに多くの人と仲良くなり、絆を深めることで、尊重し合い、助け合える学年でありたいです。支えてくれる多くの方に感謝し、ルールを守って安全に楽しい思い出をたくさん作りましょう。」としおりの「実行委員長の言葉」で語っています。



フレンドシップスクールのメインとなる「チームビルディング」では、様々なアクティビティーを通して「チームとして活動・協力すること」を学びます。入学してから1か月間で育んだ1年生の力の見せ所です。2日目には飯盒炊爨も行いました。



## 《保護者の皆様へ》 今年度の運動会（5月25日実施予定）

今年度の運動会では生徒の声から発案された生徒会主催の「生徒会種目」が午後のプログラムに予定されております。楽しみにしてください。保護者の皆様には今年も参観のルールについてご協力をお願いいたします。

- 来賓の方々には今年度もご案内いたしておりません。
- 敬老席、保護者席（イス）のご用意はありません。簡易イスや敷物をお持ちになっても結構です。
- 保護者の方々は「入場カード」にすべての参観者のお名前をご記入のうえ、名札と共に当日必ずご持参ください。卒業生や他校の友だちを呼ぶことはできません。
- 途中退場して再入場を希望される方は当日退場の際に受付にお申し出ください。
- 午後の生徒会種目（13：30～予定）もご参観を希望される方は、一度ご帰宅いただき、再入場をお願いいたします。（昼食用に体育館の開放はいたしません）
- 自転車でのご来校はお断りしています。路上に駐輪することもおやめください。PTAの係の方に巡回をお願いしています。
- 他のお子さんが写り込んだ画像の扱いにはご注意願います。SNS等への利用や画像の加工等が絶対にならないようにご家庭でもお話しください。